

むら いし  
**村石あつし**  
**富山市議会活動報告**



2017年 1・2月

**No.20**

発行責任者  
富山市議会社民党議員会

**村石 篤**



**12月8日** 本会議で一般質問



福島県から保養に来ている子どもと父(中央3人)、ボランティアと村石(右から1人目)  
【平成28年8月19日、富山市西金屋「くれは山荘」】



通学する老田小学校の子どもたちに、交通安全を呼びかける村石  
【平成28年9月26日、富山市東老田】

## 皆さまへのごあいさつ

### 新年あけましておめでとうございます

私は2009年(平成21年)4月、多くの皆さまのご支援とご協力を賜わり、当選をさせていただいてから、早いもので8年となりました。今も、初心を忘れずに市議会で活動しております。

これまで、皆さまからは、率直な意見や提案をいただいたり、地域の実情や要望について、詳しく説明していただいたりして、大変お世話になっていますことに、心からお礼申し上げます。

平成28年12月定例会では、皆さまからいただいた要望や意見に基づいて、調査と分析を行い、次の4項目について質問しました。

- 1 富山市における児童虐待相談対応件数は、平成23年度72件、平成26年度163件であり、2.3倍に増加していることから、児童虐待等について、質問しました。
- 2 富山市議会の政務活動費不正問題と「政務活動費の定期監査」等の対応について、質問しました。
- 3 市議会議員は、富山市(行政)に対して政策提言、要望、要請等を行っています。富山市が要望書等をどのように取り扱っているか、質問をしました。
- 4 富山市職員が、長時間労働となっている実態や、臨時・非常勤職員の処遇について、質問しました。

昨年12月16日、富山市に提出した平成29年度予算編成に対する要望書では、重要課題として、少子高齢化、人口減少、持続可能な都市の形成であるとなりました。その対応策としては、安定した雇用の創出、定住と交流の促進、すべての世代が安心・安全に暮らせる生活環境の一層の充実及び地域間格差の解消、公共交通の利便性の向上であるとなりました。

安心して夢を持って住める富山市であるために、社会民主党議員会としても積極的に関わってまいります。

皆さまの声に耳をかたむけ、皆さまの代弁者として、「いのちとくらしを大切に、活力ある富山市を」つくるために、8年間の活動を活かし誠心誠意努力する所存です。市民の皆さま、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 皆さまの市政に対するご意見をお聞かせ下さい。

- 富山市議会社会民主党連絡先 〒930-8510  
富山市新桜町7-38 電話(076)443-2153
- 自宅 〒930-0161 富山市東老田642  
電話・FAX(076)436-5413
- ホームページ <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~atushi/>
- メールアドレス kb4tj2@bma.biglobe.ne.jp



# 児童虐待等について

**村石** 児童虐待相談件数における心理的虐待の割合が、増加した要因については、どのように考えているか。

**橋本福祉保健部長** 本市の児童虐待に関する相談件数において、心理的虐待が占める割合は、平成23年度は20.8%、平成27年度は36.6%と推移しており、平成27年度の割合が高くなっています。この要因としては、①言葉によるおどかし、②子どもの存在の無視、③兄弟間での差別的取扱い、④子どもの目の前で家族に対する暴力、などの通告が、例年に比べ、増加したことによるものです。

**村石** 虐待の通告に関する課題と対策について問う。

**橋本福祉保健部長** 児童虐待の通告については、①虐待かどうか判断できない、②間違っていたら迷惑をかける、③通告の結果、人間関係が悪化してしまう、といった、

とまどいや不安を抱くことにより、ちゅうちょすることが課題であると考えています。このことから、①主任児童委員や保健福祉推進員等への出前講座、②保育所や幼稚園、小・中学校のほか、スーパーマーケットやドラッグストア等へのポスター掲示、③広報とやまへの特集記事の掲載、④本庁及び保健所における児童虐待防止啓発の大型パネルの展示を行い、児童虐待を発見、疑った場合は、速やかに、ちゅうちょなく、相談・通告をしていただけるよう、引き続き、啓発に努めていきたいと考えています。

## 私の考えと今後の課題

親からの虐待は、成長してからも忘れることができないと言われていています。虐待は、まわりの人が早期に発見し、親と子供に対して、適切なカウンセリングと、再発防止策が必要と考えます。

## 富山市の虐待相談件数における心理的虐待の占める割合の推移

年度	23年	24年	25年	26年	27年
割合 (%)	20.8	33.9	15.8	11.7	36.6

※児童虐待の定義は、4種類に分類されています。それによると、殴る、蹴る、叩くなどの身体的虐待。子どもへの性的行為などの性的虐待。家に閉じ込める、食事を与えないなどのネグレクト。言葉によるおびやかす、無視などの心理的虐待です。

【北日本新聞 2016年12月9日】

**村石 篤氏**  
(社民)



児童虐待通告を啓発

度は、市長部局の延べ152人が月100時間以上の超過勤務をしていた。

を通過して啓発に取り組み。委員らを対象とした出前講座や学校でのポスター掲示などを通じて啓発に取り組む。

化を恐れてのこと。主任児童委員らを対象とした出前講座や学校でのポスター掲示などを通じて啓発に取り組む。

のためらうのは、人間関係の悪化を恐れてのこと。主任児童委員らを対象とした出前講座や学校でのポスター掲示などを通じて啓発に取り組む。

めを取り組みを問う。

橋本福祉保健部長 通告を促すためらうのは、人間関係の悪化を恐れてのこと。主任児童委員らを対象とした出前講座や学校でのポスター掲示などを通じて啓発に取り組む。

企業管理部長 2015年度は、市長部局の延べ152人が月100時間以上の超過勤務をしていた。

## 市議会議員による政策提言、要望、要請等の取扱いについて

**村石** 住民の要望を市に働きかけることが議員の仕事と考えていることから、充実した記録制度を設けることが必要と考えますがどうか。

**本田企画管理部長** 政党からの書面による要望につきましては、回答書として記録しています。一方、議員個人が各課に直接要望された事項については、そのすべてについて記録する制度は有しておりませんが、各課において上司に逐一、報告するなど、適正に対応しているものと理解しています。

※中核市である岐阜市は、「岐阜市政策提言、要望、

要請等の取扱い要領」を平成25年4月に施行し、取り組んでいます。平成27年度の記録件数は、12,844件となっています。内、議員による件数は、1,068件(8.3%)で、議員1人当たり約28件となっています。

## 私の考えと今後の課題

富山市議会は、閉鎖的な議会から、市民に開かれた議会とするよう、改革を進めています。富山市も、市民や議員に開かれた事務とし、透明性を高めることが必要と考えます。

## 岐阜市平成27年度 要望等取扱い要領の運用状況について

要望者別 記録件数	その他(市民等) 9,654件 75.2%	団体等 2,122件 16.5%	公職者等(議員) 1,068件 8.3%
--------------	--------------------------	---------------------	-------------------------

# 政務活動費不正問題と「政務活動費の定期監査」等の対応について

**村石** 平成22年度定期監査における、議会事務局への意見内容と回答について問う。

**前田監査委員事務局長** 政務活動費については、定期監査の際に申請額の積算や各会派からの請求に関する支出負担行為、支出などの執行手続きの適正などについてのみ監査しています。

その際の意見としては、①領収書に宛先や品名がないなどの不備が全会派で散見されたこと、②外部団体に年会費を支出する場合の添付資料が十分でない会派があったこと、③支出伝票や出納簿について標準様式に基づかない整理がされていたり、議長への未提出が散見されたりしたこと、などから、これらについて改善されるよう意見を提出したところです。

議会事務局からの回答としては、①会計帳簿類の整理・作成の際、領収書等の内容確認及び再点検を十分に行うこと、②外部団体の年会費の支出については、政務調査活動に寄与することが十分確認できる資料を添付すること、③会計帳簿等に

ついて標準様式を使用し、議長に提出する添付書類とすること、について、議会事務局から全会派に申し入れを行った、というものでした。

**村石** 平成25年度定期監査において、政務活動費不正受給等について、発見できなかった要因を問う。

**前田監査委員事務局長** 監査委員には政務調査活動の具体的な内容や使用制限適合性についてまで審査することは予定されていないとの最高裁判例もあることから、平成25年度の議会事務局の定期監査においては、基本的には、申請額の積算や各会派からの請求に関する支出負担行為、支出などの執行手続きの適正化などについて、監査を実施したところであり、政務調査活動の具体的な目的や内容等に立ち入って審査はしていないということです。

## 私の考えと今後の課題

自民党と民政クラブによる5年間で4,000万円を超える不正受給と不適切受給については、誰もチェックできなかったこととなります。議員や会派、議会が、二度と不正の起きない制度を、確立することが求められています。

【北日本新聞 2016年12月9日】

### 監査委「内容点検せず」

富山市議会 政務活動費不正 権限の限界を強調

### 民意と歩む とやま議会考

篤氏（社民）の一般質問に前田善一監査委員事務局長が答えた。

富山市議会の政務活動費問題について、市の監査委員が8日、これまでの定期監査で不正を見抜けなかったとの指摘に対し「具体的な内容や目的に立ち入って審査するものではない」と述べ、議会への監査権限に限界があることを説明した。

同日の12月定例会で、村石

には以後も偽造や使用改ざんが繰り返されていた。村石氏は「結果として不正受給を発見できなかった」として要因をたどった。

前田事務局長は、09年の最高裁判例を示し、議会の自立性などを踏まえ、市の監査は政務活動にかかると支出の内容や適合性を点検するものではないと説明。13年度は主に申請額の積算や手続きについてチェックしたとした。

「(政務費は)各会派が自らの責任において適正に支出、処理した上で関係書類が提出されるべきもの」と強調した。

### 12月定例会で可決された主な議案

#### 【予算案件】

- ◇平成28年12月富山市一般会計補正予算  
 予算額 70億3,000万余円  
 (プール改築工事等：老田小学校1億3,000万余円、豪雨に伴う災害復旧事業8,000万余円、就労継続支援事業扶助費1億5,000万余円など)
- ◇平成28年12月富山市特別会計補正予算(2会計)  
 予算額 1,100万余円  
 (後期高齢者医療事業366万2千円、)
- ◇平成28年12月富山市企業会計補正予算(2会計)  
 予算額 ▲190万円

#### 【条例案件】

- ◇富山市職員定数条例の一部を改正する条例
- ◇富山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例

# 富山市職員の労働条件について

**村石** 市長部局、上下水道局、教育委員会、市民病院、消防局における平成27年度の超過勤務が月45時間以上80時間未満、80時間以上100時間未満、100時間以上の延べ職員数について問う。

**本田企画管理部長** 平成27年度の超過勤務実績の延べ職員数については、市長部局では、月45時間以上80時間未満が886人、80時間以上100時間未満が171人、100時間以上が152人となっています。

**村石** 非現業の職員は、労働基準法第36条36協定の対象外となっていますが、36協定の趣旨に沿った覚書を締結することの必要性について問う。

**本田企画管理部長** 36協定の趣旨に沿った覚書を締結することは、考えていません。しかしながら、職員の超過勤務に伴う健康障害を未然に防ぐための対策として、労働安全衛生法では、超過勤務が1月あたり100時間を超え、かつ疲労の蓄積が認められる労働者に対しては、医師による面接指導の機会の提供が義務付けられており、本市では該当する職員と所属長に対して、面接指導の案内を送付し、希望者には産業医の面接指導を実施しています。

さらに、労働安全衛生法では、1月あたり100時間以下の職員であっても、健康への配慮が必要である職員

に対しては、必要な措置を講じなければならないとされていることから、本市では、1月あたり60時間以上の超過勤務を3ヶ月連続で行った職員にも、医師による面談指導の機会の提供に努めており、今後とも、これらの制度を活用し、職員の健康管理に配慮していきたいと考えています。

**村石** 臨時・非常勤職員の忌引休暇は正規職員と同様と考えてよいですか。また、採用通知書に休暇をすべて記載することが必要ではないですか。

**本田企画管理部長** 忌引休暇については、臨時的任用職員のうち、勤務時間が正規職員と同程度である職員、または市税の徴収嘱託員など専門的な特定の業務について任用される職員に対して、正規職員と同様に付与しています。

臨時的任用職員本人に勤務条件の内容を十分に理解していただくため、採用通知書への記載について、改善を図ってまいりたいと考えています。

## 私の考えと今後の課題

1月あたりの超過勤務時間数が、80時間以上になると、過労死ラインを超えることとなります。早急に、時間外勤務時間の縮減の対策が、求められています。

富山市職員の1月あたりの超過勤務時間数と延職員数 (人)

	市長部局	上下水道局	教育委員会	市民病院	消防局	合計
45～80時間	866	36	67	168	309	1,446
80～100時間	171	2	13	47	0	233
100時間以上	152	1	9	35	0	197

【富山新聞 2016年12月9日】



超過勤務100時間以上は152人  
村石篤氏(社長) 超過勤務が月100時間以上の職員数は、  
市長部局で152人、市民病院は35人、教育委員会は9人、上下水道局は1人。医師の面接指導の案内など、健康管理に配慮したい。  
村石氏 児童虐待相談件数のうち心理的虐待の比率が増加した原因をどのように考えるか。  
橋本福祉保健部長 昨年度の心理的虐待の比率は36・6%で、前年度の11・7%より高くなった。「言葉による脅し」「子どもの存在の無視」「きょうだい間での差別的扱い」などの通告が増加した。  
村石氏 児童相談所の設置について現在の考えは。  
橋本部長 体制整備に努めつつ、設置の必要性や時期を慎重に検討していく。

## 430人月80時間以上残業

富山市議会十一月定例会は八日、本会議を再開し、六氏が一般質問した。本田次企画管理部長は昨年度の市長部局と教委、上下水道局、市民病院の職員のうち延べ四百三十人が、「過労死ライン」とされる月八十時間以上の残業をしていたことを明らかにした。村石篤氏(社長)に答えた。このうち延べ百九十七人

【北陸中日新聞 二〇一六年二月九日】

富山市議会十一月定例会は、残業が月百時間を超えていた。市職員課によると、長時間勤務の職員には医師のチェックを受けさせるなどしており、市町村合併した二〇〇五年以降で過労死した職員はいないという。同課の担当者は取材に「残業を減らす対策として、業務の効率化や仕事量に合った職員配置を進めていきたい」と語った。

村石氏は一連の政務活動費不正に絡み、一〇、一三両年度の政務費定期監査で不正が見抜けなかった理由も質問。前田善一 監査委員事務局長は「最高裁の判決で、市側に政務活動の目的や内容を審査する機能はないとされている。各会派が運用指針に基づき、政務費を適切に処理しているかどうか考えていた」として、領収書の体裁や計算ミスの有無などをチェックするにとどまっていたと明かした。